

三七三五番

思はずも まことあり得むや さ寝る夜の 夢に
も妹が 見えざらなくに

三七三六番

遠くあれば 一日一夜も 思はずて あるらむも
のと 思ほしめすな

三七三七番

人よりは 妹そも悪しき 恋もなく あらましも
のを 思はしめつつ

三七三八番

思ひつつ 寝ればかもとな ぬばたまの 一夜も
落ちず 夢にし見ゆる